

市民が集まり、憩い、楽しめる緑豊かな場所にいたしましょう



# 森の中の高知駅



高知を愛する皆様へ（「お知らせ」令和4年7月号）

令和4年7月1日

6月は植え替えの大作業でした。9日（木）、南口電停脇の「みんなの庭」で、役目を終えた冬～春花を取り除いて、前川種苗さんの助力で土起こしと施肥を行い、12日（日）には、ペンタス、トレニア、マリーゴールド、ミリオンゴールドなど、高知市「花いっぱい会」からいただいた夏～秋花苗162株を植え付けました（写真）。

暑い最中に集まってくださったボランティアの皆様（8人）有難うございました。

7月の活動日は17日（日）08:30～10:00、8月は個人活動といたします。

〇トピックス：

— 6月13日（月）、PRのため高知市みどり課、市長室、県知事室、記者クラブなどを訪問、「お知らせ6月号」（牧野博士が愛した桜を駅前に植えましょう）を配布しました。



耕作風景です。



植え付け作業



大きく育つてね。

駅前緑化活動はご賛同の方々のご厚志で維持されております。引き続き皆様のお力添え（花苗持ち寄り、勤労奉仕、ご寄付など）をお願い申し上げます。

♥森の中の高知駅♥

幹事連絡先：〒780-0042 高知市洞ヶ島町1-11

中田昌志 携帯電話：090-8849-3651 E-mail：m.nakata1941@gmail.com

公文敏雄 携帯電話：090-7016-3743 E-mail：kumont2@yahoo.co.jp

ホームページ：<http://mori-kochi-ekijimdo.com/>

取引銀行：四国銀行よさこい咲都支店「森の中の高知駅 ナカタマサシ 代表中田昌志」名義 普通 0709695

拝啓 浜田省司知事殿

－NHK 朝ドラ「らんまん」にちなんだ県土緑化に大賛成です－

6月15日付け高知新聞が「県議会質問」欄で紹介した県知事の答弁「観光客の増大を図る上で、県土の緑化は意義がある。来年はNHK朝ドラを契機とした博覧会を計画しており、玄関口となる空港や駅などの緑化に向けた具体的な方向性を年内にとりまとめる。」に私ども『森の中の高知駅』一同は大賛成です。

知事は更に「木材利用と緑化の一体的な推進は、本県の長所を生かした効果的なグリーン化を可能にする。・・・本県ならではのグリーン化を目指す。」と宣言しました。

緑は魅力的な景観をつくるだけでなく、直射日光による猛暑を和らげ、大気中の一酸化炭素を吸収して酸素を出すことで住民を元気にし、火事や洪水などの被害を少なくする効果もあります。

その時限りの一過性イベントではない、持続的な事業構想に県民としてできる限り協力したいものです。

（知事の答弁は、武石利彦県議の質問「県土の緑化を推進し、全国一の森林県らしい『グリーン化』を進めてはどうか。」に対するもの）

ちなみに、宮城県は「新みやぎグリーン戦略プラン」の主要施策として、平成5年以来「100万本植樹事業」を続けています。「みやぎ環境税」と「宮城みどりの基金」を活用、植樹活動を行う県民に緑化木等を配布することなどで、これまで県内980か所に199,736本の緑化木を植栽したそうです。（写真とも同県ホームページより）



市民による100万本の森づくり（仙台市）



海岸公園への植樹（仙台市若林区）

<余話> 南伊豆の宿で大洪水に出会った（井伏鱒二随筆集『還暦の鯉』より）

「・・・外は暗闇であったが、ときどき稲妻が光るので、いろんなものが川上から流れて来るのがわかった。流木のほかに、鳥居のようなもの、櫓子（れんじ）窓、雨戸などが矢のように流れて来て、どしんと庭木に突きあたる。もし庭木がなかったら、まともに家に突きあたる。この際、庭木が頼みの綱のようなものである。なかでも貧弱な三本のポプラの木が一番たのもしい。たいていの流木はこのポプラの木に突きあたって、きりきり舞いをしてから脇に流れていく。・・・」（昭和15年7月）